

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	多血小板血漿（Platelet-rich plasma：PRP）を用いた筋腱靱帯損傷治療成績の後ろ向き観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2017 年 1 月から PRP を投与された患者 研究責任者：望月友晴
③概要	PRP 治療はここ数年本邦でも徐々に普及していますが、施設や使用製品によって品質が一定でないため、効果も一定ではありません。国内で発売されている PRP 製品は大きくわけて、白血球なし PRP、白血球入り PRP、細胞なし PRP（Freeze dry）、自己タンパク溶液（Autologous protein solution: APS）の 4 群に大別されていますが、いずれにおいても成績は一定でなく、どの製品がどの疾患に効果があるか不明です。白血球入り PRP は白血球によって投与後に炎症を引き起こし、組織再修復を促します。そのため関節外の筋・腱・靱帯修復に効果があると予想されます。実際にこれまでの投与経験から、当院での治療成績は先行研究で報告されている成績より同等か優れている可能性があります。本研究の目的は、当院で使用している白血球入り PRP を用いた関節外の筋・腱・靱帯損傷に対する治療成績を後方視的に調査し、その効果を検証することです。
④申請番号	2021-0377
⑤研究の目的・意義	白血球入り PRP の効果（臨床成績）を明らかにすること
⑥研究期間	2022 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	医師の診察時に記載していただくアンケートとリハビリ時に行う運動機能検査データ、画像検査データを使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、体重、身長、運動機能検査、日常生活活動評価、臨床評価、画像検査
⑨利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院 整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 整形外科 助教 望月友晴
⑪お問い合わせ先	整形外科 望月友晴 Tel：025-227-2272